

## 令和5年度 学校評価 山南中学校パワーアッププラン

### 1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	地域に誇りを持ち豊かな人生を切り拓く生徒の育成 ～ふるさと山南の教育資源（ひと・もの・こと）を生かし、2校（旧山南中、旧和田中）の伝統をつなぎ、それらをひろげ、新たな価値をつくりだす力を育む～
本年度の重点目標	①すべての生徒が安心して学び、生活できる居場所づくり ②生涯学び続けるための基盤となる力の育成 ③教職員の組織力向上と業務改善、人材育成 ④地域とともにある学校づくりの推進

### 2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話を重視し、生徒の内面理解に基づく指導</li> <li>組織的で人権を基盤とした指導</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週開催する生活指導委員会において生徒の情報を共有しながら、すべての教職員で指導にあたった。</li> <li>指導にあたっては、対話を重視し、生徒の理解・納得を図ることを大切にしている。</li> <li>いじめや問題行動については、事案の未然防止に努めるとともに早期発見・即対応を心がけた。</li> <li>不登校傾向の生徒については、学級担任を中心に関係機関とも連携しながら、社会的自立に向けての支援をすすめている。卒業後の進路を見据えた指導が求められる。</li> </ul>
	保護者・地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の設立による保護者、地域住民との対話を充実するしくみづくり</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の設立にあたっては、教職員及び保護者（PTA役員）、地域住民による熟議を開催し、目標の共有を図った。</li> <li>委員の人選にあたっては、各自治協議会、民生委員等の生徒との関わりの深い団体、PTA等と協議・調整することで、多様な委員の選出を実現できた。</li> <li>生徒を中心に据え、学校・家庭・地域が協議するしくみをつくることのできた。今後は、この制度を生かし、地域資源を最大限に活用した学校づくりをすすめたい。</li> </ul>
教育課程	指導方法の工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的、協働的に課題解決に向かう力を育む授業づくり</li> <li>生徒自身が自らの課題を解決するための学びを計画実行する力の育成</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決型の授業づくりをすすめるため、校内の授業研修会を開催し、兵庫教育大学の加藤久恵教授の指導を受けながら、組織的に研究をすすめた。授業提案教科（社会科）以外の教科への拡大が今後の課題である。</li> <li>生徒自身が自分の学びをマネジメントする力の育成に向け、旧和田中での実践をいかし取り組んでいる。テスト期間の取組であるが、充実・拡大していきたい。</li> </ul>
課題教育	人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に取り組む人権学習の推進</li> <li>いじめ、暴力を許さず、不登校を生まない風土の醸成</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な人権学習組織である「よつば学級」を設立し、その運営を生徒中心に行い、人権意識の高揚に努めた。3年生4人を実行委員とし、52人の参加を得て活動した。現地（姫路）に赴き、皮革産業の歴史を学んだり、視覚障害のある酒井雅和さんを招いた講演会を行ったりするなど、実感を伴う学習を展開した。</li> <li>いじめや暴力を許さないという意識は高い（年度末学校評価アンケート：98%）。この気運をいかし、事案の未然防止の充実や課題解決に向けて、自ら考え、行動できる生徒の育成をすすめていきたい。</li> </ul>

### 3 学校関係者評価

- 学校評価アンケートに「(生徒) 相談できる先生がいる」「(保護者) 教職員に相談しやすい」という質問項目があるが、生徒・保護者ともに8割程度が肯定的回答であり、概ね良好な関係づくりがすすんでいると思われる。反面、2割程度は「相談しにくさ」を感じているようであり、日々の授業や行事、個別面談等の様々な教育機会を通じて、生徒一人ひとりの実態に応じた対応を今後も充実させてほしい。
- 学校運営協議会の委員として、校区内4つの地域(小学校区)から、普段から何らかの形で子どもたちとの関わりを持つ様々な立場・経歴の方に参集いただいた。子どもたちを軸にした学校づくりに寄与していきたい。
- 学びを生徒自身がマネジメントできるようにする取組は、将来に生かせる力を育むことが期待される。ますます充実させてほしい。

### 4 次年度の改善の方向性

- 旧山南中学校、旧和田中学校が大切にしてきた人権を基盤とする学校風土を定着させ、すべての生徒にとって安心・安全な学校づくりをすすめる。
- 学校運営協議会を軸に、保護者、地域や関係機関との信頼関係を強化し、連携して問題行動、不登校、感染症等の諸課題の解決に取り組みながら、安心・安全な学校づくりをすすめる。
- 生徒が自分たちで課題を設定し、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育む機会を充実する。学校行事、生徒会活動の充実を図るとともに、課題解決型学習の研究・実践に取り組む。
- 地域資源(ひと・もの・こと)を生かしたキャリア教育を展開する。

令和6年3月4日

学校名 丹波市立山南中学校

校長名 岸田 孝広